

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6635-6657
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	863	25.4	181	13.6	283	15.2	192	13.8
2018年12月期第2四半期	689	7.6	160	△8.2	245	11.8	168	29.4

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 168百万円(60.3%) 2018年12月期第2四半期 104百万円(△45.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	29.28	28.35
2018年12月期第2四半期	25.70	24.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	2,211	1,647	74.5
2018年12月期	2,190	1,649	75.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 1,647百万円 2018年12月期 1,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

連続最高益。

当社グループを取り巻く事業環境や海外子会社設立を契機としたグローバル展開を大きく加速させることを踏まえ、上場来五期連続の増収増益及び過去最高の当期純利益、となることを見込んでおります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 2社 (社名) JIG-SAW US-tech INC.、JIG-SAW DT INC.、除外 1社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期 2 Q	6,686,000株	2018年12月期	6,650,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	121,625株	2018年12月期	71,527株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期 2 Q	6,558,068株	2018年12月期 2 Q	6,563,017株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、現実世界・サイバー空間が高度に融合し、全ての人やモノがつながるIoT等、デジタル経済の進化の先にあるSociety5.0（経済発展と社会的課題の解決を両立する社会）へ向かっています（出典：総務省「令和元年版 情報通信白書」）。このような環境のなかで当社グループは、IoT、IIoT分野に加え「生物・細胞」がインターネットとつながるIoE（Internet of Everything）の世界を見据えた取り組みを国内だけではなく北米地域も含め、継続して着実に進めております。

当社マネジメントサービス事業の売上は、安定した完全サブスクリプションモデル（完全ストック型ビジネス）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されています。当第2四半期連結累計期間においても、引き続き解約率の低い月額課金案件の受注獲得を推し進めており、前年同期と比較して月額課金売上は192,295千円純増し、上場以来18四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり極めて堅調に推移しております。

IoTサービス「neqto」については、機器のIoT化と双方向通信制御のエンジン「neqtoエンジン」のライセンス提供も開始し、加えて建機分野における自律・協調制御・自動操縦等を実用化する業界標準機開発についての共同プロジェクトへの契約合意など、具体的な取り組みも継続しております。さらに、今年設立した米国・カナダ法人2社の稼働開始により、国内だけではなく海外を含めたグローバル規模での様々な企業群との連携を見込んでおります。引き続き今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた投資である研究開発費・販売促進費・人件費・グローバル展開のための経費は前年同期と比較して約99,000千円増加しております。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高863,961千円（前年同期比25.4%増）、営業利益181,860千円（前年同期比13.6%増）、経常利益283,389千円（前年同期比15.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益192,028千円（前年同期比13.8%増）となりました。

なお、当社グループはマネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,300,884千円（前連結会計年度末比25,762千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が減少（前連結会計年度末比21,673千円減）した一方で、売掛金が増加（前連結会計年度末比32,722千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、910,217千円（前連結会計年度末比4,834千円減）となりました。これは主に、投資有価証券が減少（前連結会計年度末比22,428千円減）した一方で、固定資産のその他に含まれる敷金及び保証金が増加（前連結会計年度末比12,761千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,211,101千円となり、前連結会計年度末に比べ20,927千円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、355,466千円（前連結会計年度末比51,888千円増）となりました。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比15,832千円増）、流動負債のその他に含まれる未払金が増加（前連結会計年度末比35,566千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、208,178千円（前連結会計年度末比29,269千円減）となりました。これは主に、長期借入金が減少（前連結会計年度末比7,998千円減）、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が減少（前連結会計年度末比17,580千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、563,644千円となり、前連結会計年度末に比べ22,618千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,647,457千円（前連結会計年度末比1,691千円減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比192,028千円増）した一方で、その他有価証券評価差額金が減少（前連結会計年度末比20,024千円減）、自己株式が増加（前連結会計年度末比178,807千円増）したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、957,430千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は、109,358千円（前年同期は41,332千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益283,389千円の計上により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は、58,104千円（前年同期は67,483千円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入106,994千円により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により支出した資金は、184,801千円（前年同期は198,033千円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出178,807千円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連続最高益。

当社グループを取り巻く事業環境や海外子会社設立を契機としたグローバル展開を大きく加速させることを踏まえ、上場来五期連続の増収増益及び過去最高の当期純利益、となることを見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	979,104	957,430
売掛金	249,333	282,056
その他	46,736	61,425
貸倒引当金	△52	△28
流動資産合計	1,275,121	1,300,884
固定資産		
有形固定資産	103,429	111,001
無形固定資産	23,031	20,341
投資その他の資産		
投資有価証券	703,950	681,522
その他	85,181	97,893
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	788,591	778,875
固定資産合計	915,052	910,217
資産合計	2,190,174	2,211,101
負債の部		
流動負債		
買掛金	94,307	110,139
1年内返済予定の長期借入金	26,030	19,034
未払法人税等	101,228	101,486
その他	82,012	124,806
流動負債合計	303,578	355,466
固定負債		
長期借入金	24,014	16,016
資産除去債務	3,691	—
その他	209,742	192,162
固定負債合計	237,447	208,178
負債合計	541,025	563,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	338,482	342,982
資本剰余金	297,955	302,455
利益剰余金	879,128	1,071,156
自己株式	△351,908	△530,716
株主資本合計	1,163,658	1,185,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485,486	465,462
為替換算調整勘定	—	△3,887
その他の包括利益累計額合計	485,486	461,575
新株予約権	2	2
純資産合計	1,649,148	1,647,457
負債純資産合計	2,190,174	2,211,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	689,088	863,961
売上原価	208,565	223,652
売上総利益	480,522	640,308
販売費及び一般管理費	320,384	458,448
営業利益	160,138	181,860
営業外収益		
受取利息	27	25
投資有価証券売却益	85,540	105,127
その他	2,008	614
営業外収益合計	87,576	105,768
営業外費用		
支払利息	98	55
為替差損	221	3,220
自己株式取得費用	1,139	943
その他	286	19
営業外費用合計	1,745	4,238
経常利益	245,969	283,389
税金等調整前四半期純利益	245,969	283,389
法人税、住民税及び事業税	74,504	91,971
法人税等調整額	2,785	△611
法人税等合計	77,290	91,360
四半期純利益	168,679	192,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	168,679	192,028

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	168,679	192,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,829	△20,024
為替換算調整勘定	—	△3,887
その他の包括利益合計	△63,829	△23,911
四半期包括利益	104,849	168,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,849	168,116
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	245,969	283,389
減価償却費	11,735	19,694
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△211	△23
受取利息及び受取配当金	△27	△25
支払利息	98	55
自己株式取得費用	1,139	943
投資有価証券売却損益(△は益)	△85,540	△105,127
売上債権の増減額(△は増加)	△14,333	△32,722
仕入債務の増減額(△は減少)	25,117	15,832
その他	△40,564	20,207
小計	143,382	202,222
利息及び配当金の受取額	27	25
助成金の受取額	—	593
利息の支払額	△98	△55
法人税等の支払額	△101,980	△93,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,332	109,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,524	△17,847
無形固定資産の取得による支出	△4,973	—
投資有価証券の取得による支出	△838	△17,087
投資有価証券の売却による収入	88,820	106,994
その他	—	△13,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,483	58,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△14,994	△14,994
自己株式の取得による支出	△189,289	△178,807
その他	6,250	9,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,033	△184,801
現金及び現金同等物に係る換算差額	△258	△4,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△89,475	△21,673
現金及び現金同等物の期首残高	860,969	979,104
現金及び現金同等物の四半期末残高	771,493	957,430

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式50,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取による取得も含めて自己株式が178,807千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が530,716千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、マネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。